



桂川っ子

VOL.24

「桂川中が目指す学びの学校」

桂川中学校 校長 山本和生

平成21年度も本校の教育活動に対し、地域の方々から温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。

桂川中学校では、社会で通用する学力（学ぶ意欲と確かな学力）と規範意識をもった生徒の育成を目指してきました。そのため、コミュニケーションを重視した授業づくりや社会性・規範意識を高める活動の充実、豊かな心の育成を今年度の重点として教育活動を行いました。具体的には、全教師による年1回の公開授業研究や、日常の指導も含めた良好な人間関係づくり、職場体験や福祉ボランティア体験などです。

今年度も、多くの方々が学校にお見えになり、生徒の姿を見ていただく機会がありました。生徒の落ち着いた学習状況や学校生活の様子に、非常に良い評価をいただいています。また、「学びの学校」へ道半ばですが、今後とも温かくご支援ください。

「伸びを認め、そして前進」

桂川小学校 校長 本田義隆

番号	平成21年度重点内容	伸び
1	互いの違いを認める技能	+15
2	他者の感情を共感できる技能	+10
3	しっかりと聴き、話す技能	+12
4	対等な関係をつくる技能	+10
5	差別を見きわめる技能	+10
6	暴力をつかわず解決する技能	+14
7	公平な判断ができる技能	+20
8	考えたことを学年×10個書く	+20
9	教科書の字をすべて読む	+13
10	学習の仕方を身につける	+16
11	髪をそめない等きまりを守る	+8
12	そうじをしつかりする	+10

重点内容12項目すべてにおいて伸びがあります。めんどくさい、わからないことばをへらすための凡事徹底です。つみあげる、やるべきことはやる、ダメなことはダメ、これらはいつの時代も変わらないことです。伸びを認め、さらに前進していきます。

「学校と地域との連携」

桂川東小学校 校長 田島久美子

「今日は、アンビシヤスがあるから、楽しみ！」朝、校門をくぐる二年生の女子のつぶやきです。木曜日の放課後と土曜日は、桂川東小学校の体育館を中心に、桂川「ひまわり」アンビシヤス広場が開かれます。子どもたちは、地域のアンビシヤスの方々に見守られて、自由遊び・俳句・民謡踊り・料理などの活動を楽しみます。

2月28日には、この桂川「ひまわり」アンビシヤス広場委員会が「特に優れた活動」を行ったとして、県知事さんから表彰されました。「自分は良い面を持ったかけがえない、大切な存在である」という気持ち。つまり、「自尊感情」を活動の中で子どもたちに育んでいただいていることに深く感謝するところです。学校教育を支え、子どもたちを育てていただいております。本当にありがとうございます。

今後とも、学校と地域がしっかりと連携を深め、子どもたちを育んでいきたいという思いを強くしております。どうぞよろしくお願ひ致します。